

製品名: IRF8 ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe87356**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:48 kDa; Observed MW:48 kDa

抗原情報

遺伝子名	IRF8
別名	ICSBP; IRF-8; ICSBP1; IMD32A; IMD32B; H-ICSBP
遺伝子 ID	3394
SwissProt ID	Q02556
免疫原	ヒト IRF8 の組み換えタンパク質

背景

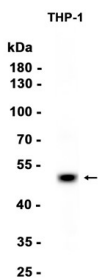
インターフェロンコンセンサス配列結合タンパク質 (ICSBP) は、インターフェロン (IFN) 調節因子 (IRF) ファミリーの転写因子で

す。このファミリーのタンパク質は、N末端領域に保存された DNA 結合ドメインと、調節ドメインとして機能する C 末端領域の分岐領域から構成されています。IRF ファミリータンパク質は、IFN 刺激応答配列 (ISRE) に結合し、I 型インターフェロン (IFN- α および IFN- β) によって刺激される遺伝子の発現を制御します。また、IRF ファミリータンパク質は、ウイルス感染によって誘導される IFN- α および IFN- β 調節遺伝子の発現も制御します。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]

研究分野

-

画像データ



IRF8 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した THP-1 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。